

栗山町まちづくり100人委員会の第3回提言に対する

# 回 答 書

平成24年3月29日

栗 山 町

## はじめに

栗山町まちづくり100人委員会の委員の皆様におかれましては、3年目の活動となる今年度、それぞれお忙しい中お集まりいただき、これまでの協議をさらに深められ、今後のまちづくりに向けたご提言をまとめていただきましたことに対し、敬意を表するとともに厚く御礼申し上げます。

町といたしましても、多くの町民の声をまちづくりに反映する町民皆さんの会として、今後のさらなる活動にご期待申し上げるとともに、引き続き良きパートナーとして連携、協力した中で、これからのまちづくりを共に進めてまいりたいと考えております。

さて、今回、ご提言頂きました防災に対する取組みにつきましては、3・11東日本大震災以降、特に重要な課題として位置付けており、町民自らが「自分の命は自分で守る」という意識を持って取り組む「自助」、町内会、自主防災組織、ボランティア等が互いに助け合う「共助」、町が行う「公助」について、それぞれが充実・強化することが必要であると考えます。

ご提言いただきました主旨を十分に踏まえ、以下のとおり回答いたします。

平成24年3月29日

栗山町長 椿原紀昭

## 提 言

### 震災への備えの具体化と防災意識の 発揚に向けた取り組みの推進について

## 回 答

本町の第5次総合計画において、防災につきましては“地域防災計画に基づき、各防災関係機関と連携を図り、災害の予防、警戒および応急対策などの危機管理に努め、これまで以上に町民生活の安全の確保に努めます。

また、自主防災組織の設置育成、災害物資の備蓄や資機材の充実などに努めます。さらに、国民保護法に基づく本町の計画に基づき、その体制づくりの強化を図ります。”という基本目標を掲げ、その実現に向け取り組んでいるところでありますが、3・11東日本大震災以降、自治体における防災体制の強化はさらに急務となっております。

以下、ご提言の重点事項に対する町の考え方について、ご説明いたします。

1点目の避難所や広域避難場所に関することですが、栗山町地域防災計画において指定している避難所及び広域避難場所については、地域の実情と合致していない部分があり、今後、まちづくり協議会、町内会、自治会等と協議を進め、現状に合った見直しを行います。その中で、収容人員の不足などがあれば、民間企業及び団体等と連携を深めるとともに、町内業者との物資供給協定等の締結を進めてまいります。

また、避難所及び広域避難場所の標識については、各地域との見直しの中で統一した標識の設置に向け検討してまいります。

2点目の防災情報の周知に関することですが、洪水・地震マップについては、冊子の形式、情報の内容、避難所・広域避難場所の見直しに併せ、新たに作成したいと考えております。

また、家庭における防災意識を高めるために、各家庭で書き込めるなど、工夫してまいります。さらに、町民への情報伝達の方法は、庁舎内に「防災検討委員会（仮称）」を設置し、多方面から有効な情報伝達の方法を検討いたします。

3点目の要援護者への対応のあり方につきましては、要援護者の情報は、個人情報保護との兼ね合いもありますが、地域の皆さんの協力のもと、情報共有を検討いたします。また、要援護者向けの避難所として福祉避難所を社会福祉施設などの関係機関と協議し、協定の締結を進めてまいります。要援護者対策には、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、福祉団体、社会福祉施設等との連携が不可欠であり、役割分担等を協議いたします。

4点目の防災意識の向上と防災マニュアルの策定に関することですが、平成20年度より行っている総合防災訓練を今後はより実践的な内容となるよう、まちづくり協議会、町内会、自治会等と協議し、防災訓練実施計画の策定と併せ、訓練を実施してまいります。

防災マニュアルについては、ご提言のとおり、発生時における場所や季節に対応したマニュアル作成に着手し、町広報をはじめ、ホームページ等を活用し防災意識の向上に努めます。また、子供たちについては、地域の協力のもと、防災体験の機会を広げ、意識の高揚を図ります。

5点目の防災備蓄品に関することですが、現在、平成22年度に策定した「栗山町備蓄計画」に従い、食糧品や防災備品を整備しておりますが、今後は保管場所も含め、備蓄内容、備蓄量の協議を行い、負担区分（各家庭・地域・行政）においても明確にしてまいります。また、備蓄状況については、町ホームページ等を活用し、常に情報発信に努めます。

6点目の河川に関することですが、川端ダムの管理者である北海道開発局へ、実情を調査のうえ、必要があれば土砂堆積の除去の要望を行いたいと考えております。また、町内河川の改修計画は、計画通り進められるよう関係機関へ要望してまいります。